広報誌
ねこ
令和8年9月号

発行責任者
社会福祉法人　東京援護協会
東京高次脳機能障害者支援ホーム
☎03－3925－0088

相良施設長



訓練効果　わかりやすく

令和８年4月１日からヒブディ東京の自立訓練事業では『社会生活における自立度評価 SIM(Social Independence Measure)』を導入し、評価結果をホームページ上で公表し始めました。評価の具体的な項目は　健康管理、セルフケア・掃除・整理、金銭管理、買い物、外出、自己の障害理解、コミュニケーション・人間関係、余暇・社会参加・制度などです。個々の利用者の入所時と退所時評価の差を示すことで、自立訓練事業がどういうリハビリをする事業なのか、利用者に対してどんな効果があるのか等を示すことで、より施設を地域の方に活用していただこうとするものです。ご興味があればぜひホームページを確認してみてください。

SIMとは？

SIM（Social Independence Measure：社会生活の自立度評価）は、障害福祉サービスの自立訓練（機能訓練・生活訓練）における成果を評価するために、厚生労働科学研究の中で開発された評価指標です。日常生活や地域での暮らしに必要な力を確認するための評価方法で、今年度から自立訓練係で導入しています。

我々が評価する内容は身辺動作だけでなく、社会の中で生活するために必要な力を総合的に見ます。大切なのは、「できる・できない」を決めるための評価ではないということ。その人らしい生活を実現するための一つの手段として「得意なこと」「少し支援があればできること」も見つけ、今後の目標や支援に繋げることが目的です。訓練を受けての変化を客観的に確認し、利用者や支援者みんなで共有すること。点数を見るためではなく、その人らしい暮らしを一緒に考えるための評価。それがSIMの役割です。



日帰り旅行







★イオン東久留米★

★三芳 SA★







★エミテラス所沢★

新任職員紹介

黒石　力　管理係



七月一日に異動してきました黒石です。今までは板橋区内で知的障がい者支援の仕事をしていました。

こちらには自主製品（お菓子）の販売で、何度かお伺いしたことがありました。私にとってはこれまでとは全く違う環境ですが、早く馴染んで業務に臨みたいと思います。どうぞ宜しくお願いします。

平野 妃菜子 生活支援係



四月より新卒で生活支援員として入職させていただきました。大学時代は心理学を学んでおりました。

不慣れではありますが、一日でも早く利用者の皆様から信頼を得ることができるよう、日々高次脳機能障害について知識を深め、何事にも積極的かつ真摯に取り組んでまいります。宜しくお願いいたします。

荻原　恵美　管理係

管理係事務員として三月に入職いたしました。

直接利用者の皆さまと関わる機会は多くありませんが、職員の皆様を支える縁の下の力持ちとして貢献できるよう努めていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



四ノ宮　誠也　生活支援係

今年の四月より入職させていただきました四ノ宮です。

すてきなご縁に感謝しながら、日々働かせていただいております。まだまだいたらない部分も多いかと思いますが、みなさまよろしくお願いいたします。



開所記念行事

56 年の歩みに感謝を込めて



6 月 11 日、開所 56 周年を記念し、記念行事を開催しました。

はじめに、利用者代表によるくす玉割りが行われ、「おめでとう」の文字が現れると、会場は大きな拍手に包まれました。続いて利用者代表による乾杯のあいさつがあり、参加者全員で開所 56 周年を祝いました。

昼食には開所記念の特別食を提供しました。メニューは、彩り豊かな天丼をはじめ、さっぱりとした鰻ざく、なめらかな茶碗蒸し、風味豊かなすまし汁、そしてデザートにはふんわりとしたシフォンケーキが並びました。普段とはひと味違う豪華な献立に、利用者の皆さまからは「おいしい」「ごちそうだね」といった声が聞かれ、笑顔あふれる昼食の時間となりました。

昼食後は多目的室にて、シンガーソングライターの大山裕氏をお招きし、音楽ライブを開催しました。心に響く歌声と温かな演奏に会場は一体となり、利用者の皆さまは手拍子をしたり、一緒に歌ったりしながら楽しい時間を過ごされました。会場いっぱいに笑顔が広がり、開所記念行事にふさわしい思い出深いひとときとなりました。

＼おめでとう！／





開所記念の豪華なお食事



大山裕氏の音楽ライブ♪

これまでの評価と SIM の違い

従来の評価	SIM
身体機能や日常生活動作（ADL）が中心	社会生活全体を評価
「身の回りのこと」が主な対象	地域生活・社会参加まで含めて評価
現在の能力を把握する	強みを見つけ、目標設定や支援につなげる
医療・介護場面で広く活用	障害福祉、とくに自立訓練や地域生活支援で活用

私たちの施設でも、利用者一人ひとりの「できること」や「これから伸ばせる力」を大切にしながら、SIM を活用しています。

点数を見るためではなく、その人らしい暮らしを一緒に考えるための評価。

それが SIM の大きな特徴です。



学習会もスタート

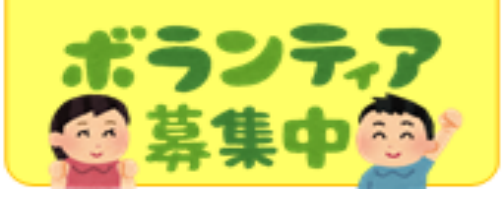
SIM 評価を行うにあたり、通常の訓練以外にも「学習会」を今年度から行うこととなりました。地域生活を目指すにあたり必要な八つのテーマがあり、毎月一つを二回（五〇分×二回）に分けて学びます。入所中にすべてのテーマを学び終えるように設定しています。

内容が幅広いものもあるため、各利用者の特性に沿ったものを提供しています。

利用者の皆さまに学習内容へ少しでも関心を持ってもらうため、動画や〇×クイズなどを取り入れたものもあります。

八つのテーマ以外についての学習会も必要に応じて開催を検討します。





＊利用者と交流して下さる方を募集しています。

日中活動の補助（近隣散策・レクリエーション等）

担当：定方・姫野・葛野・三須